

第15回和歌山県高校生英語ディベート大会開催要項

- 1 目的 日頃の英語の学習成果を発表する機会として、物事を多角的な視点からとらえる態度を育成するとともに、ディベート活動を通して生徒のコミュニケーション能力の向上を図る。
- 2 主催 和歌山県教育委員会
- 3 日時 令和8年10月18日（日）（予備日は10月25日（日）とする。）
9：30～17：30（受付9：10～）
- 4 会場 和歌山県民文化会館
予備日：紀の国住宅南コミュニティセンター
和歌山市小松原通一丁目1番地（電話 073-436-1331）
予備日：和歌山市紀三井寺 856 番地（電話 073-494-3755）
- 5 参加資格
 - ・ 県内の高等学校、特別支援学校高等部及び高等専門学校の3年生までに在学する生徒。
 - ・ 英語のネイティブスピーカーは不可。
 - ・ 次の(1)～(3)のいずれかの条件に該当する者は、1チームにつき2名までとする。ただし、該当生徒で各試合に出場できるのは1名までとする。（試合ごとの変更は可能。）
 - (1) 英語を第1言語とする国に12か月以上滞在経験のある生徒（就学前の滞在は不問）
 - (2) 英語を第2言語とする国の出身である生徒（就学前の滞在は不問）
 - (3) 家族で常用的に英語を使っている生徒
- 6 チーム構成 同一校でチームを編成し、1チームは4名～6名。
（1校から複数チームの出場も可能であるが、1校からの出場チーム数を制限することがある。）
- 7 競技規則 和歌山県高校生ディベート大会基本ルール(別紙)による。また、全国高校英語ディベート連盟（HENDA）による全国高校生ディベート大会ルール(<https://henda.global/>)を参考とする。
（予選運営方法等で異なる部分もあるので注意すること。）
- 8 競技方法 トーナメント形式とする。組み合わせについては、参加申し込み終了後、抽選を行う。なお、昨年度の1位校、2位校をシード校とするが、シード校から複数チームのエントリーがあった場合は、その学校において優先順位の高いチームをシードの対象とする。また、参加チーム数の状況により、競技方法を変更することもある。

9 論 題 すべての試合において、次の論題とする。

Resolved: That the Japanese government should eliminate all tariffs on imported rice.

日本政府は輸入米の関税を撤廃すべきである。是か非か。

10 表 彰 1位～4位までに楯と賞状を授与する。また、ベストディベーターに賞状を授与する。

11 全国大会への出場

- ・上位校（本大会の出場校数により、全国大会への出場校数が決定する。）には、令和8年12月に東京都で開催される第21回全国高校生英語ディベート大会への出場権が与えられる。
- ・全国大会の出場は1校あたり1チームまでとし、同大会への出場選手は再構成し、登録することができる。
- ・全国大会出場に係る登録等の費用は、各学校の負担とする。

12 参加申込等 各学校において参加チーム毎に参加申込書(別記様式)を作成の上、取りまとめて令和8年6月26日(金)までに、下記担当宛てに提出すること。

13 ジャッジについて

出場校はジャッジを1名登録すること。ジャッジ資格については問わないものとするが、全国高校英語ディベート連盟(HEnDA)のルールに基づき、試合の勝敗を判定する能力が求められる。なお、引率教員以外の者がジャッジのために参加した場合、その費用は出場校の負担とする。

14 その他 県立学校の教員が引率またはジャッジとして参加した場合、週休日の振り替えとなる。

【担当】 和歌山県教育庁学校教育局県立学校教育課
教育改革推進班 指導主事 嶋田 大輔
〒640-8585 和歌山市小松原通1丁目1番地
TEL 073-441-3681 FAX 073-441-3652